

電気電子情報工学部会々報

<http://www.kgudenki.jp>

No. 35

発行責任者
岡田 光晴

2012年度 関東学院大学 工学部 電気電子情報工学科 卒業祝賀会
於 県民ホール 英一番館

部会長挨拶

会長 岡田 光晴
(電気'69年度卒)

部会会員の皆様におかれましては、ご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。また、日頃よりご支援、ご協力いただきありがとうございます。本年度もよろしくお願いいたします。

さて、同窓会活動の大きな柱は、一つ目は同窓会会員相互の親睦を図ること、二つ目は現役学生への支援、三つ目は大学の理念に基づいた社会への貢献、と考えています。中でも現役学生の就職の状況は、年々熾烈さを極め、就職率も著しく低下傾向にあり、卒業生の中には希望の職種に付けなかったり、正社員に雇用されなかったりと、ことは深刻さを増しています。

このような状況の中で燦葉会本部はサポートクラブを立ち上げ、大学への支援、特に現役学生への支援については、卒業生のネットワークを活用した就職支援活動を重点的に行うこととしています。

電気系卒業生についても就職戦線においては年々厳しさを増している現状を踏まえ、当部会は就職状況が少しでも改善されるよう活動してまいりたい

と考えております。ついては、今後計画する就職支援活動を行うに当たり、職種別、業種別に卒業生の皆様のお力をお借りしなければなりません。来年1月には活動の一環として企業戦線第一線で活躍する卒業生と就職予定学年の現役学生との懇談会を計画したいと考えていますので、卒業生の皆様のご協力をお願いいたします。

本年4月より工学部が理工学部と建築・環境学部へ改組されました。当部会は今後、理工学部の電気系卒業生によって構成されることとなりますが、これまでのように学科で明確に構成されていた時と異なり、卒業生の部会への帰属意識が希薄になることが危惧されています。

部会といたしましては部会活動の活性化策として、すでに実施しておりますが、部会ホームページの充実、SNS活用の拡大を図り、会員相互の親睦と交流を幅広く進めてまいります。また、部会活動に対し、興味を持っていただき、参加していただき、支援していただくために、合同同期会の開催、同好会(文化、スポーツ等)を設置し、より魅力のある部会活動にしていきたいと思います。

おわりに、これからも卒業生の皆様のご意見をいただき、部会の発展に努力したいと考えております。卒業生の皆様のご支援とご協力をより多くお願いいたします。また、毎回のお願いで恐縮ではありますが、「会費納入のお願い」につきましても合わせてご協力をお願いいたします。

電気電子情報工学科の 近況について

電気電子情報工学科科長
銭 飛



皆さん、ご無沙汰しております。お元氣でしょうか。

昨年度において、燦葉会電気電子情報工学部会をはじめ、皆様のご協力を頂き、卒業祝賀会を無事終了させたことについて、この場を借りて感謝の意を表させていただきます。

さて、恒例ですが、学科の近況をお知らせいたします。2013年は工学部改組・理工学部が始動した年となります。新しい理工学部は理工学科という一つの学科となり、11コースから構成されています。今、電気電子情報工学科は電気電子コースと健康スポーツ計測コースで構成される電気学系として理工学部の中で重要な一席を占めています。

2013年度4月時点での電気学系の学部生入学者数につきましては、電気電子コース63名(定員48名)、健康スポーツ計測コース24名(定員20名)、計87名、学部生の在籍者の総数は353

名となっております。一方、大学院工学研究科電気工学専攻への入学者数は、博士前期課程4名、博士後期課程が1名入学しており、前期課程の在籍者総数は18名、後期課程は8名となっております。電気電子情報関連の各分野において、精力的に研究活動を行っております。

教員の変動につきましては、植原弘明准教授は教授へ昇格されました。そして、健康スポーツ計測コースを担当する新しい先生として、高橋健太郎准教授が着任しております。一方、本学の為に長年ご尽力いただきまして宮崎道雄先生、酒井芳雄先生が退職となり、宮崎先生が引き続き特約教授として後進達をご指導にあたりますが、酒井先生は完全退職となりました。

2013年度は学部改組後の初年度にあたり、改組の段階で検討してきた様々なプランを実践し始める年でもあります。電気学系は、理工学部理工学科の大きな枠組みの中で、現代社会のインフラストラクチャーの一端を担っている電気電子分野の関連教育を行っています。この新しい枠組みの中で、学生達にとっては、電気電子分野は勿論、理工学部の他の分野の知識を横断的に学ぶことができるようになり、専門分野の境界に囚われない幅広い教養と知識を修得することができるようになります。この目標を具現化するために、われわれ教職員一同は、これからも、教育内容をより一層充実させ、電気電子情報分野の重要性和その魅力を

学生達に着実に伝えられるような教育体制を作って行きたいと考えております。

以上、学科の近況についてご紹介いたしました。今後とも、皆様からのご支援とご協力をお願い申し上げます。

2012年度の年会費・E&C 育成基金納入についてのお礼

会計幹事 黒川 徳一(電気'65年度卒)

小川 博芳(電気'77年度卒)

同窓生の皆様お元氣ですか、6月15日にKGU関内メディアセンターにて評議員会が開催され、2012年度の事業及び収支決算、2013年度の事業計画、予算案が可決承認されました。年会費は154名、E&C育成基金は50名(112口)から納入頂きました。誠に有難う御座いました。

2011年3月11日の東日本大震災、原発事故とその爪跡は今も残り、世界の情勢も不安定です。このような時期だからこそ、「絆」を大切にした社会構造が求められると思います。2013年度は震災後の復興に向けて日本全体が一致団結がんばる年です。

電気電子情報工学部会としても、大学、同窓会、在校生が丸となる活動を実施すべく皆様の積極的な活動参加に期待しております。活動については部会のホームページをご覧ください。

2013年度も引続き在校生の論文・研究発表に奨励賞として図書カードの贈呈を致します。論文奨励賞、研究発表奨励賞は在校生の励みとなり、また同窓会との相互の親睦が図れることで継続を強く推進したいと思っております。近年は同窓会の活動に在校生の学生会から積極的に参加をしてくれましたので、先生、在校生と同窓生等相互の親睦が図られ充実してきたと思っています。

また、近年は少子化、経済状況等により受験生の減少、卒業生の就職難も聞こえております。1月の賀詞交歓会時には在校生との懇談に期待し、皆様のご協力の程よろしくお願いいたします。

同窓生の皆様には、年会費、E&C育成基金納入に対し、お礼を申し上げますと共に、これからも同窓会活動にご協力の程お願いいたします。

なお、年会費、基金納入者氏名を別刷りに掲載させて頂きました。

年会費 2,000円

郵便振込口座番号

00250-3-22193

加入者名

関東学院大学燦葉会

電気電子情報工学部会

年会費の納入には次の方法でお願いしています。

- 1、同封の払込取扱票により郵便局にてお振り込み戴く方法。
- 2、部会の各イベント開催時、現地にて現金納入を戴く方法。

部会だより(電気電子情報工学部会)

加藤研究室紹介



電気工学専攻博士前期課程

土井 和誠

(電気'11年度卒)

私たち加藤研究室は、現在大学院博士後期課程4名、博士前期課程1名と研究生2名、学部生5人のメンバーで加藤先生、竹村先生のご指導の下で日々、研究を行っています。

加藤研究室では現代のデバイス開発で大きく注目されている分野を取り入れた物で、ナノテクノロジーによる電子材料の開発・有機分子を用いたエレ

SPM走査型プローブ顕微鏡
(微小な領域まで見える特殊な顕微鏡)

クトロニクスの研究を主とし、いくつかのグループに分かれて研究を行っています。

研究室の活動としては学内または学外の研究発表の他に、年に数回国際学会にポスターセッション等で参加しています。

学内のハイテクリサーチセンターにあるナノテクノロジーの最先端の装置を使い測定を行います。

・炭素物質の研究

デバイスの高性能化が進みナノテクノロジーが注目されている中で、特殊な結晶構造をしていて熱電特性、電気特性共に優れているグラフェン、カーボンナノチューブがナノテクノロジーの新材料として期待されています。グラフェンは研究室オリジナルの剥離方法や電気特性を調べています。カーボンナノチューブは主に分散技術について研究しています。

レーザーラマン分光装置
(物質をピークによって解析する装置)

・ナノスケール構造のテンプレートの研究

ナノスケールの構造をもつテンプレートの開発は様々なナノデバイスを作製するための重要な課題となっています。本研究室ではナノ構造を用いて高分子のパターニングの研究をしています。

また、ナノ構造を持つ基板の表面に薄膜を作製してその発光特性を調べる研究も併用して行っています。

・導電性高分子の研究

高機能な有機デバイスの開発は次世代の電子デバイス技術の基礎となるといわれます。本研究室では高分子のE1素子の性能を探索するため導電性高分子ポチチオフェンの高機能化を目指し、同時に導電性高分子の発光状態と高機能化のメカニズムを探索することに力注いでいます。

ホームページだより

副幹事長 一杉 和良
(電気'96年度卒)

電気電子情報工学部会は、独自のホームページを開設しています。アドレスは左記の通りです。

<http://www.kgudenki.jp/>

当部会のホームページの主旨としては、部会活動のイベント(評議員会、総会、賀詞交歓会、卒業祝賀会)の案内や報告などの情報発信を主に行っています。

また、2011年からSNSの利用を行っており、部会行事だけでなく、燦葉会や大学の行事の情報の発信を行っていきますので、是非ともご利用ください。

今年度の部会の行事は次頁の行事案内のように計画しております。こちらも詳細をホームページへ掲載いたしますので、お知り合いの方に声をかけて、是非とも参加して頂きたいと思っています。また、SNSを利用されている方は、部会の行事などを知り合いの方に広めていただくことを願います。

最後に、ホームページは部会活動だけではなく、会員の皆様からの記事も掲載致します。ホームページに掲載して欲しい情報や報告などがありましたら、次のメールアドレスまでご連絡下さい。当部会に対する問い合わせに関しても、同アドレスに連絡して下さい。

kanni@kgudenki.jp

クラス会報告

仁田 雄康

(電気Ⅱ'65年度卒)

1965年度に工学部Ⅱ部電気工学科を卒業した仲間の中で、一番若い人が今年古希を迎えるのを祝って、卒業後47年ぶりに初めてクラス会を5月7日に開催しました。

残念ながら卒業後お互いあまり連絡を取り合って居なかったのですが、30人居た仲間で連絡先が判明したのが20名しかなく参加者はわずか7名でしたが、遠い秋田県や岩手県からも参加してくれました。

当日は11時に大学金沢八景キャンパスに集合し、今年から理工学部電気電子コースとなった学部の研究室や実験設備などの見学をさせて頂き、我々の学んだ時代とは比較できない設備環境の良さを羨ましく思いました。

その後シーパラダイス近くの日本料理屋「桔梗亭」に席を移し昼食を取りながら歓談を楽しみました。

最初は顔と名前が一致しませんでした。直ぐに打ち解け学業と仕事の調整の苦労話や、校訓である「人になれ奉仕せよ」が話題となり、大学で何を学んだかという明確な記憶が無い中、この校訓だけは、皆、記憶に刻んで人



生と向き合っていたという事が語られ、それが極めて象徴的でした。

今の年齢になって思うことですが、人の魂に語りかけた言葉というのが、人の記憶には長く刻まれるもののようなのです。

それだけに、現在キリスト教概論と礼拝が必修ではなくなっている事を知り、皆残念に思っています。

行 事 案 内

2013年度総会開催のご案内

本年度の燦葉会電気電子情報工学部会の総会は、大学の新校舎見学および

講演会を行う予定です。

日にち…2013年11月中ごろ

場 所…大学 金沢八景キャンパス

当日は下記の5学年合同同期会も合わせて開催いたします。

2014年賀詞交歓会のご案内

会員相互の情報交換並びに学科教職員の方、学生と交流・親睦を深める場を兼ね、恒例の賀詞交歓会を開催いたします。

また、今年度は就職活動が始める学生たちに、就職活動のアドバイスをするような場となるようにする予定です。日にち…2014年1月24日(予定)

会 場…関東学院大学 金沢八景キャンパス 12号館「アゴラ」(予定)

2013年度卒業祝賀会開催のお知らせ

恒例となりました、学科、学生会、部会の共催による卒業祝賀会を左記の通り開催いたします。年度末の行事になります。部会として新入会員としての歓迎会も兼ねておりますのでOB OG各位の積極的な参加をお願い致します。

日 時…2014年3月24日(月)

16時～19時

会 場…ナビオス横浜(予定)

各行事の詳細は決まり次第、部会のホームページ

<http://www.kyudenki.jp>

に掲載いたしますので、そちらを参照して下さい。

部会活動活性化の試み

—5学年合同同期会の開催—

(卒業生へのサービス向上)

池岸 茂(電気'82年度卒)

私ども幹事の活動に対する評価の指標として、年会費の納入実績が挙げられます。

2012年度の実績は、154名の会員の皆様から308,000円を納入して頂きました。これは、総会員数5,096名から考えますと、およそ30名に1名の方の納入に止まっておりますし、納入頂いた会費を会員1名に換算しますと、60円/人です。例えば、会員全員に葉書き1枚送付する程度の財源ではない状況(評価)にあります。

やはり同窓会は、会員相互の交流や親睦を深める事や、喜んで頂く事が一つの大切な使命ですので、『卒業生の皆さんに対するサービス活動を強化したい』との思いに至りました。

試みは、卒業生の皆さんに「興味を持って頂き」「参加して頂き」「支援して頂く」ことを目的に、「同期会」の開催や、会費を納入して頂いた方への「情報提供」等を行いたいと思案しております。

試みの第一弾として「5学年合同同期会(1980～84年度卒+教員OB)」を総会とともに開催しますので、どうぞ、お楽しみに！